

東九州自動車道の概要

東九州自動車道は、北九州市を起点として、福岡・大分・宮崎・鹿児島各県を結び、鹿児島市に至る延長436kmの高速自動車国道で、北九州市で九州縦貫自動車道と分岐し、途中、九州横断自動車道長崎大分線、九州横断自動車道延岡線、九州縦貫自動車道宮崎線と連絡し、九州縦貫自動車道鹿児島線と接続する路線です。

当路線は、九州縦貫自動車道及び九州横断自動車道とともに、九州の高速自動車国道のネットワークを形成し、東九州地域の産業・経済・文化の振興と均衡ある発展を図り、また交通混雑の緩和、輸送時間の短縮など沿線都市の生活向上・活性化が見込まれるとともに、災害時などにおいて消防・救急活動などの速やかな対応を図るための緊急輸送路としての役割も担います。

なお、東九州自動車道 行橋IC～みやこ豊津IC、椎田南IC～宇佐IC間における事業の進捗状況(用地取得率は12月末時点、面積ベース)は以下の通りです。

- 行橋IC～みやこ豊津IC(延長約7.4km)
平成26年12月13日 開通済
 - 椎田南IC～豊前IC(延長約7.2km)
用地取得率は約95%となっており、用地取得及び工事を進めているところです。
 - 豊前IC～宇佐IC(延長約21.1km)
平成27年3月1日 開通予定
- (参考:国交省施工区間)
- 佐伯IC～蒲江IC(延長約20.4km)
平成27年3月21日 開通予定

